

令和7年度 授業改善推進プラン全体計画

小平市立小平第十四小学校

〈関係法令等〉

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

東京都教育目標・小平市教育目標

〈学校教育目標〉

◎たくましい子
強靱な意思と実践力をもち、心身共に健康でたくましく生きる子ども

○考える子
自ら学ぶ意欲をもち、主体的に問題を解決しようとする子ども

○やさしい子
自然を愛し、他人を思いやる豊かな心をもつ子ども

○おこなう子
勤労・奉仕の精神を尊び、自主的・自発的にすすんで行動する力をもつ子ども

〈目指す学校像〉

1 生きる力を育む人間の健全なる成長を促す場

2 基礎・基本を身に付ける場

3 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を行う場

〈各教科等の授業改善の視点〉

【国語】

- ・「書く」ことの活動の継続
- ・学校図書館の活用
- ・ことばの時間の充実
- ・漢字や言語の特質の理解
- ・読書の推進

【社会】

- ・資料の読み取り(解釈・説明)の習熟
- ・表現の仕方の習熟
- ・用語を適切に活用した意見の交流
- ・地図帳、年表等の活用の推進

【算数】

- ・問題解決的な学習の充実
- ・四則計算の習熟
- ・習熟度別指導の徹底
- ・個別支援の充実
- ・ノートを取り方や発表の方法の統一

【理科】

- ・問題解決的な学習の充実
- ・事物・現象の確認の徹底
- ・比較・関係付け・条件制御・推論の資質向上
- ・考察する力の向上
- ・観察・実験(器具の扱い)の習熟

【生活科】

- ・地域参画型授業の充実
- ・学び・遊びの交流や発信

【音楽】

- ・表現活動の工夫
- ・鑑賞活動の充実

【図画工作】

- ・様々な素材や表現方法の体験の充実
- ・鑑賞活動の充実

【家庭科】

- ・よりよい生活のための実践(生活の見直し・気付き)

【体育】

- ・帯活動による体力向上
- ・昨年の体力テストの結果に基づく重点的な指導(投てき、持久力、俊敏性)の実施

【道徳】

- ・話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫
- ・道徳で育んだ心情・判断力・態度を日常生活で活かすこと
- ・生命の尊さを知り、自他の生命を大切に
- ・する道徳的判断力・心情・態度・実践意欲を育む。
- ・資料の精選(多彩な間接体験)

【総合的な学習の時間】

- ・探究的な学習の推進
- ・地域貢献型学習の充実

【外国語科・外国語活動】

- ・学習展開のスタンダード化
- ・小・中連携教育の強化

【特別活動】

- ・学年(学級)文化の創造
- ・きょうだい学級の関わり
- ・学級会(1)による自主的、実践的な活動

〈学力向上にかかわる学校経営方針〉

授業力の向上

①主体的・対話的で深い学びの実現

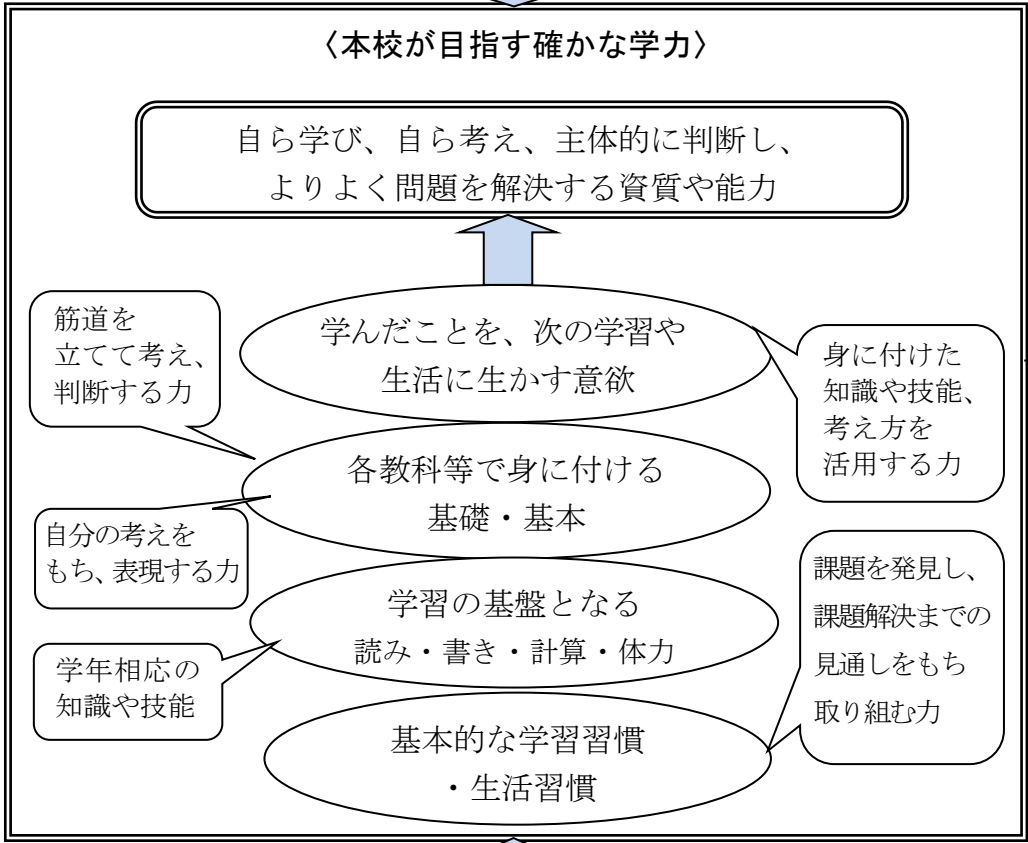
- ★学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善
- ★校内研究の充実(学級会(1)…自分の考えをすすんで表現し、より良い人間関係や生活をつくる児童の育成)
- ★道徳、外国語(活動)、プログラミング教育の充実
- ★教員自身の授業力向上

②基礎学力の定着

- ★授業規律の徹底
- ★めあてと振り返り どの子にも分かる授業「分からない0」
- ★「こだいらこれだけは」の徹底
- ★外国語(活動)の学習を通した異文化理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成
- ★読書月間を設定、金曜日の朝読書、読書カレンダー、おすすめの本カードなどによる読書活動の推進

③体力の向上・運動への関心・意欲の向上

- ★準備運動・集団行動等の指導方法の改善
- ★体育的行事の取組方法の改善
- ★「十四小トライアル」等、体育的活動の充実
- ★「楽しみながら運動プログラム」の活用



〈授業改善推進のPDCA サイクル〉

【1学期】

- ・児童の学力実態把握
- ・休み時間・人間関係調査
- ・自己申告書作成
- ・ふれあい月間いじめ調査
- ・**授業改善推進プラン作成**
- ・校内研究
- ・学校公開アンケート
- ・児童アンケート

Plan

Do

Check

Action

【2学期】

- ・校内授業研究
- ・自己申告書 中間報告
- ・学校評価アンケート
- ・児童アンケート
- ・保護者アンケート
- ・ふれあい月間いじめ調査

【3学期】

- ・自己申告書 最終報告
- ・校内授業研究
- ・ふれあい月間いじめ調査
- ・次年度引き継ぎ(仮案の作成)

〈授業改善振り返りの視点・児童の実態〉	学校経営目標(短期)			
	学力向上			健全育成
	主体的・対話的で深い学びの実現	基礎学力の定着	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進
	・児童が意欲的に取り組むための導入の工夫をする。 ・ICT 機器の活用やノート指導など、自分の考えを表現させる指導を工夫する。 ・ペアでの対話や全体交流、ICT 機器の活用を通して、互いの課題解決を意識した学習を行う。 ・問題解決的な学習を実施する。	・学習規律の徹底をする。 ・明確なめあての提示をする。 ・補習や家庭学習等による学び残しや、つまずきの解消をする。 ・教科指導と関連付けた図書館資料の活用を行う。	・運動量を十分に確保した授業をする。 ・めあてを意識して運動に取り組ませる。 ・めあてに応じた振り返りをする。 ・体育的行事の取組方法の改善を図る。	・集団生活の中で自主的にルールを築いたり、自治的な活動を進めたりする。 ・あいさつ運動など自発的な活動を続ける。 ・いじめを許さない意識をもち、行動を見直す。 ・授業の中で体験を通して、学ぶ時間を重視する。